令和８年度山間地帯特産指導所主要課題現地検討会「夏季高温対策について」
（いばらき農業アカデミー）開催要領

１　目的

近年の気候変動、特に夏季の高温は、多くの農作物における収量や品質の低下など、県内農業に甚大な影響を及ぼしている。本年は、記録的な高温には至らなかったものの、今後も夏季高温が頻発する懸念がある。

そこで、本検討会では、夏季高温下においても安定した収量・品質を確保するため、露地作物（ベニバナインゲン「常陸大黒」、リンゴ、ニガウリ、小ギク）における高温対策技術の取り組みを紹介し、これらの技術を迅速に生産現場へ普及させることを目的とする。

２　日時

令和８年 12 月 15 日（火）午後１時 30 分から３時まで（受付開始：午後１時）

３　場所

農業総合センター山間地帯特産指導所（茨城県久慈郡大子町頃藤 6690-1）

４　内容

（１）検討事項

・細霧冷房等を用いたベニバナインゲン「常陸大黒」の高温対策技術について
　山間地帯特産指導所　飯泉主任
・本県の気候に適したリンゴ有望品種について（試食を含む）
　山間地帯特産指導所　藤咲技師

（２）情報提供

・霞ヶ浦用水を活用したニガウリの高温対策技術について
　県西農林事務所 坂東地域農業改良普及センター　米倉専門員
・小ギクの高温対策技術について
　園芸研究所 花き研究室　坂井室長

５　参集範囲

県内各生産組織、常陸農業協同組合、水戸農業協同組合、茨城むつみ農業協同組合
関係市町村（大子町、常陸大宮市、日立市、水戸市、城里町、古河市）
県関係機関（農業技術課、産地振興課、農地整備課、各農林事務所経営・普及部門、各地域農業改良普及センター、農業総合センター、試験研究機関）